

令和3年度
木材利用推進全国会議

木の建築がつくる森とまちの未来
社会を支える木の建築をつくり続けるために

2021年10月29日
木材会館7階ホール

安田 哲也

NPO法人サウンドウッズ 代表理事

お話しする項目

1. 木の建築がつくる新しい社会
2. 森の価値を伝える地域の担い手をつなぐ
魚津市立星の杜小学校 (富山県)
3. 百年の森林づくりが「見える」木の拠点
西粟倉保育園・あわくら会館 (岡山県)
4. ふるさとを学ぶ「教材」をつくる
香美町立村岡小学校幼稚園 (兵庫県)



sound wood(s)
▲-▲-▲-▲

NPO法人サウンドウッズ

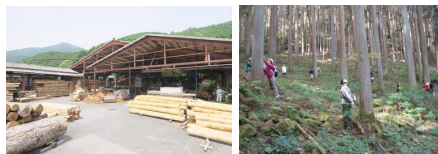
丹波事務所：兵庫県丹波市氷上町賀茂72-1
大阪事務所：大阪市中央区内平野町2丁目1番2-5A

- 業務内容
- 1) 森林所有者に対する森林資源活用提案
 - 2) 立木直接販売システムの運営管理
 - 3) 地域材の生産・流通のコーディネート
 - 4) 地域材による建築・プロダクトのプロデュース・設計監理
 - 5) 木材コーディネーターの育成認定・活動支援

役員構成

代表理事 安田 哲也 事業コーディネーター・建築士
副代表理事 能口 秀一 木材コーディネーター
理事 山口 祐助 林業家
監事 北尾 靖雅 都市計画・マスターアーキテクト専門家

会 員 正会員 10名 会員 25 名 (2021年9月末時点)



沿革・受賞	
2021年10月	岡山県西粟倉村「あわくら会館」令和3年度木材利用優良施設コンクール 内閣総理大臣賞
2020年10月	富山県魚津市「星の杜小学校」令和2年度木材利用優良施設コンクール 国土交通大臣賞
2020年 2月	岐阜県御嵩町新庁舎建設設計者選定プロポーザル最優秀提案
2020年 2月	埼玉県小鹿野町新庁舎建設設計者選定プロポーザル最優秀提案
2020年 2月	魚津市立星の杜小学校完成 全国初オール木造3階建準耐火構造校舎
2018年 7月	木の建築の発注支援・設計支援専門とする一級建築士事務所を開設 大阪 (イ) 第25483号
2018年 3月	兵庫県香美町「村岡小学校幼稚園」が第13回 木の建築賞 大賞受賞
2017年11月	京都府京丹波町新庁舎建設設計者選定プロポーザル最優秀提案
2015年11月	富山県魚津市統合小学校建設設計者選定プロポーザル最優秀提案
2012年 7月	セブン-イレブン記念財団「NPO基盤強化助成」に採択され、「まちの拠点」大阪事務所開設
2011年 7月	林野庁事業「木造公共建築物等の整備に係る設計段階からの技術支援事業」(平成23年度～現在)
2009年 3月	NPO法人化「森の拠点」丹波事務所開設
2009年 2月	第七回木材供給システム優良事例コンクール 全日本木材市場連盟会長賞受賞
2007年12月	兵庫県産木材需要拡大優良事例コンクール優秀賞受賞
2003年 7月	兵庫県加古川流域森林資源活用検討協議会活動開始

NPO法人サウンドウッズ

安田 哲也 やすだてつや 事業コーディネーター・一級建築士

昭和45年(1970年) 兵庫県生まれ

平成 5年(1993年) 大学卒業後、建築設計事務所勤務、青年海外協力隊参加

Chief Architect under Engineering Dept.,
Municipality of Chinhoyi, Ministry of Local Government, Rural & Urban Development
The Republic of Zimbabwe, AFRICA (1999年6月～2001年6月)

平成16年(2004年) 有限会社ウッズ(兵庫県丹波市) 共同設立し一級建築士事務所登録
加古川流域森林資源活用検討協議会活動開始 事務局代表
地域材活用による建築ネットワーク事業開始

平成21年(2009年) NPO法人サウンドウッズ設立に参加し代表理事就任

平成30年(2018年) NPO法人サウンドウッズ 一級建築士事務所登録
地域の木材で表現する木の建築に特化した建築プロデュース・設計監理体制

林野庁補助事業「木造公共建築物等の整備に係る設計段階からの技術支援事業」
(一社)木を活かす建築推進協議会・地域団体支援ワーキング委員 (平成23年～)
京都女子大学生生活造形学科非常勤講師 (平成19年～令和3年)
高知県立林業大学非常勤講師 (平成30年～) その他 研修会講師・講演等多数



■木の建築事業コーディネート・木材調達支援の主な実績

・西脇市立岡あいあいセンター	2006年	兵庫県西脇市	
・豊岡市立資母地区コミュニティセンター	2009年	兵庫県豊岡市	
・豊岡市小野地区防災拠点・交流施設	2011年	兵庫県豊岡市	
・村岡小学校・幼稚園	2015年	兵庫県香美町	第13回「木の建築賞」大賞
・にしあわくらほいくえん	2018年	岡山県西粟倉村	ウッドデザイン賞2018 他
・魚津市立星の杜小学校	2020年	富山県魚津市	令和2年度 木材利用優良施設コンクール 国土交通大臣賞
・西粟倉村あわくら会館	2021年	岡山県西粟倉村	令和3年度 木材利用優良施設コンクール 内閣総理大臣賞
・京丹波町役場新庁舎	2021年	京都府京丹波町	
・京丹波町たんばこども園	2021年	京都府京丹波町	
・小鹿野町役場新庁舎	設計中	埼玉県小鹿野町	2022年竣工予定
・御嵩町役場新庁舎	設計中	岐阜県御嵩町	2023年竣工予定
・小栗栖中学校区小中一貫教育校	設計中	京都市	2024年竣工予定
・西陵中学校区小中一貫教育校	設計中	京都市	2024年竣工予定
・新宿御苑大木戸新御殿	設計中	東京都新宿区	2023年着工予定

木の建築がつくる新しい社会

— 木の建築10年を振り返る —

脱炭素社会の実現に資する等のための 建築物等における木材の利用の促進に関する法律

令和3年6月11日公布
令和3年10月1日施行



公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律

平成22年5月26日公布
平成22年10月1日施行

非住宅・中大規模建築への木材利用のための取組

- ① **担い手育成・事業者ネットワークの構築**
→ 発注者・設計者・木材供給者の連携構築
- ② **新たな建材や構法の開発・普及**
→ これまでできなかった用途規模の建築を木で実現
- ③ **木材供給体制整備・性能がわかる木材の普及**
→ 安定供給のための事業者連携・JAS構造用製材の普及
- ④ **法令告示の改正**
→ 鉄やコンクリートを前提とした規制・基準の見直し
明確に示されてこなかった木の建築の安全性の再検証
- ⑤ **木の建築がもたらす効果・効用の検証**
→ なんとなく「よい」を、客観的根拠を示す

令和3年度 林野庁補助事業 「民間部門主導の木造公共建築物等整備推進」事業 建築物の木造化・木質化を推進する団体募集

民間部門主導の木造公共建築物等整備推進事業では、
専門家を派遣し、建築物の木造化・木質化を推進する地域団体等を支援
します。



支援実施に当たり、木造建築物の具体的な案件があれば、それを題材とした具体的・実践的な支援が可能
です。地域団体等が直接案件を持たない場合であっても、間接的な係わりのプロジェクト等を含め、
積極的に取り上げていただくことを推奨します。
なお、直接・間接共に具体的な案件を一切持たない地域団体等に対しても、その地域に応じた多様な形態
の支援を行いますので、安心して応募してください。

支援内容	・地域産業の循環を前提とした木造公共建築物（公設・私設）等の建設 ・既存建築物等の増築あるいは改修による木造化・木質化の推進 ・木材利用活性化の組織・人づくり ・木材利用の普及・啓発活動 ・その他 ※ 建築物そのものへの補助金等の支援ではありません。
対象団体	・木材の安定供給の確保に関する特別措置法 第四條の事業者 ・既存の「地域協議会等」 ・これから地域協議会等を「組織しようとする者」 ・民間の地域協議会等を指導している「公共団体・公的機関等」
募集期間	7月1日～7月31日 必着
応募書類	応募書類は下記URLよりダウンロードしてください http://moku-zouka.kiwoikasu.or.jp/

木を活かす建築推進協議会
TEL 03-3560-2882 Email: moku-zouka@kiwoikasu.or.jp

島内での木材発注工程と品質管理・設計手法の方針まとめ

■五島市立図書館建設工事 木材調達スケジュール (案)

可能な限り地元材・地元業者

JAS認証が必要ない設計・地元産材利用への確実力のある設計者を選定
木質の専任者も、支給前段階の確保

■ 種：木造公共建築物等の建設
■ 支援先：長崎県五島市
■ 支援年度：平成29年度

島内産材の利用方針づくりを行った。島内設計者が主体に関わるような本数型スケジュールづくりや品質管理方法を習得。行政関係者や設計者、木製関係者で、建設現場や木材調達プロセスを見学することで、木材や木造の知識を深めることができた。

休校校舎の木造化・木質化改修・再生計画および県産材普及

■ 種：改修による木造化・木質化の推進
■ 支援先：こうちスマートウェルネス住宅
■ 支援年度：平成30年度

休校の小学校を改修する際に、県産材で木造化・木質化を行う際の設計方法や木材品質、仕入れ等の指定方法等の確立を共有化した。県産材を利用した公共建築の木造化・木質化へ向けたガイドラインを作成。

竣工した支援建物

■ 種：木造市立東野小学校
■ 種：市産材活用
■ 設計支援 平成23年度

■ 種：県産材活用
■ 種：県産材活用
■ 設計支援 平成23年度

■ 種：島産材活用
■ 種：島産材活用
■ 設計支援 平成25年度

木を活かす建築推進協議会

平成30年～ 民間部門主導の木造公共建築物等 整備推進事業



平成23年～平成29年 木造公共建築物の整備に係る 設計段階からの技術支援事業

林野庁補助事業
事務局：(一社)木を活かす建築推進協議会
支援委員会ワーキング委員として活動

ワークショップ運営や地域産木材活用のためのしくみづくりに対する支援
全国10の地方自治体に対して、14課題（施設+組織づくり）の支援を担当

実施年度	自治体	自治体の課題	★完成 ☆計画・建設中 ○構想
H23年度	愛知県豊田市	小学校 ★	
	兵庫県豊岡市	集会施設 ○	
	兵庫県香美町	小学校 ★	
H24年度	岡山県西粟倉村	保育所 ★ 役場庁舎・図書館・ホール ★	
	(前年から継続) 愛知県豊田市	小学校	
	兵庫県香美町	公民館 ○	
H25年度	愛知県新城市	小学校 ★	
H26年度	(前年から継続) 愛知県新城市	小学校	
	広島県安芸太田町	小学校 ★	
H27年度	山口県長門市	道の駅 ★	
H28年度	長野県塩尻市	市役所分庁舎・コミュニティ施設 ★	
H29年度	広島県竹原市	こども園 ★	
H30年度	広島県	こども園★ +木の建築推進団体運営体制強化	
R01年度	—	—	
R02年度	佐賀県	公民館☆ 木の建築推進団体準備会支援	
R03年度	佐賀県	木の建築推進団体準備会支援	

「事業化立案」「木材調達支援」「設計者と木材供給者の連携体制構築」を支援

関係する各立場に課題あり

1. 発注者の課題

発注の手順が、鉄筋コンクリートや鉄骨造のようにマニュアル化されていない

2. 設計者の課題

木を使った中大規模建築の設計監理に慣れていない

3. 木材供給の課題

限られた工期でまとまった量の安定した品質の木材の供給がむずかしい

4. 施工者の課題

非住宅中大規模の木の建築をつくるための
施工技術・施工体制・資材調達 のノウハウ

それぞれの分野、各者の課題を総合的な解決が必要

木の建築に関連する、関心の高いテーマ

建築コストの比較

鉄筋コンクリート・鉄骨造の過去事例と比較できるの？
木造の建築コストは高いのでは？

効果・効用の説明

木を使う優位性は、どのように説明すればよいの？

木材の調達や性能の評価

県産材や国産材を集めるのは大変らしいけれど
建築資材の納期確保や品質管理の方法を誰に聞けば…？

維持管理・メンテナンス方法

建築後のランニングコストの目安がわからない
維持管理にお金がかかりそう

なんでも木でつくればいいのか？

木でつくる効果が発揮できる用途・規模があるのでは？

建築基準法・消防法等による制限の十分な把握が必要
用途・規模による防耐火性能・避難・設備・構造計画に配慮

① 木材の特性を理解し無理のない箇所に木材を使用

- 火災の恐れのある場所を避ける
- 湿潤な状態に長くさらされる場所を避ける

② 木材の効果効用が高まる箇所に使用する

- 調湿効果や断熱性能が効果的な使用
- 視覚的な効果が期待できる使用

③ 森の育ち高め地域の産業を活気づける副次的効果に着目

- 森林所有者の意欲を高め、次の森づくりにつなげる
- 地域産業の関りを積極的に生み出す調達の推進

木材が化石資源より優れていると注目される理由

木材は 社会の持続的発展を支える資源



- 身近に手に入る
- 使うまでに必要なエネルギーを低減
- 人工林の保全により短期間で再生可能
→ 将来に使い続けることができる

木の建築をつくり続けるために何が必要か

まちづくりを支える森づくりの成果

森づくりとまちづくりの双方に価値と成果を最大化するバランスを保つ計画を目指す



そもそも

今なぜ木の建築なのか…

歴史を遡れば日本には木の建築が

たくさんあるではないか？

木造建築禁止令！

日本建築学会の
「建築防災に関する決議」
(1959年)

木の建築が封印された50年を経て



オリンピックスタジアム <https://tokyo2020.org/ja/venues/tokyo-stadium>

木造高層ビルイメージ(住友林業HP)

令和3年～

木の建築が社会に定着する
新たなステージ



平成22年～令和3年

失われた50年を取り戻す
チャレンジの10年

社会の安心や豊かさのため

未来に使い続けることができる身近な資源で

魅力あるまちや暮らしをつくる

魚津市立星の杜小学校【富山県魚津市】

森の価値を伝える地域の担い手をつなぐ

令和2年度木材利用優良施設コンクール 国土交通大臣賞



魚津市立星の杜小学校

木の温もりに包まれた学び舎づくり
「全国初オール木造3階建て校舎への挑戦」

【住吉・上中島・松倉統合小学校校舎新築事業】



学校 校章

作者：立花知洋
デザインの意図
星の杜をイメージした校章です。3本の木で三枝のと結合をあらわし、すくすく育つ葉や輝く星を表現しました。

学校 校歌

作詞 吉田郁美
作曲 高橋 克
： 朝いだし 今ここに
： 昇りてみよう
： 夢の星を掲げよう
： 上げた空に輝くは
： るきとを照らす光になる

美しい白のその光
： 未来がある
： ！ 夢の星を掲げよう
： 輝く生きてゆく
： したを照らす光になる

施設 概要

所在地 魚津市住吉203番地
敷地面積 13,849.20㎡
所在地 魚津市
設計監理 東信建築事務所
建築士 鈴木一雄建築士事務所
設計事務所 一般建築士事務所
ワークショップ協力 福井大学 西洋建築研究室
施工（建築） 山形建設・東城・朝野工業JV
施工（電気） 北陸電気工事
施工（空調） 島山工業
施工（給排水衛生） 寺崎設備工業所
木材調達 うおづ産木材調達JV
（新川森林組合、尾谷林業、南田製作所）

校舎棟（南A・B、北）
構造 木造2階建て
建築面積 2058.02㎡
延床面積 4419.98㎡
工期 2017年9月～2019年2月

校舎棟（西）
構造 木造2階建て
建築面積 684.64㎡
延床面積 371.33㎡
工期 2018年12月～2019年11月（予定）

体育館棟（既存）
構造 鉄骨コンクリート造平屋建
建築面積 724.64㎡
延床面積 784.62㎡

グラウンド
整備面積 5,500㎡
表土工法 透水性保土土壌改良
主な設備 150mトラック、100m走道

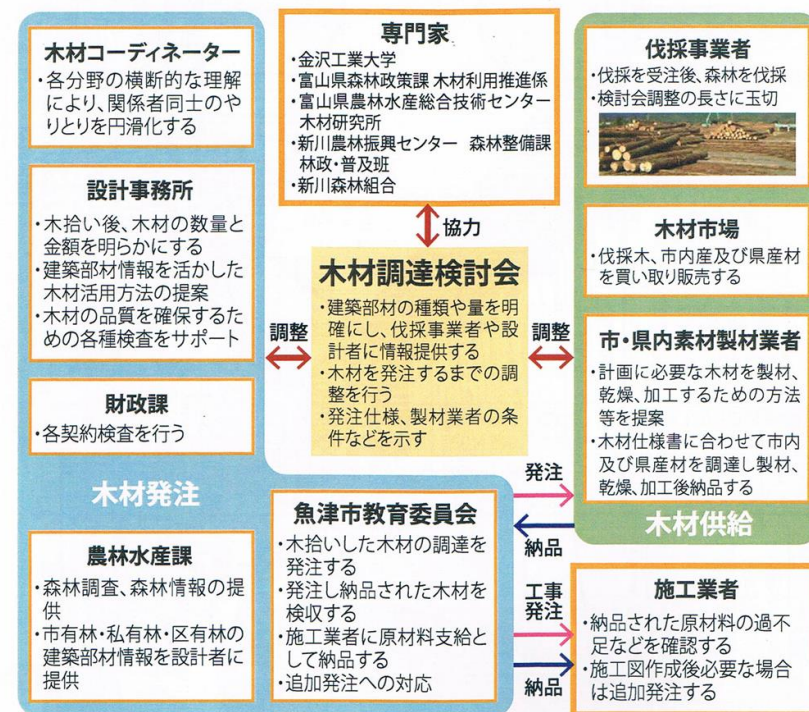
発行/編集 福井大学 西木研究室、東信・鈴木設計共同体、魚津市教育委員会

【構造木材総使用量】

使用樹種： 魚津市産スギ 魚津市産ヒノキ 国産材アカマツ

	南A棟	南B棟	北棟	西棟	集計
構造用製材	261.20	42.50	253.10	50.80	607.60
構造用集成材	247.70	22.20	184.30	40.20	494.40
構造材合計	508.90	64.70	437.40	91.00	1,102.00
構造用合板			444.50	33.20	477.70
下地材			119.40	13.40	132.80
造作材・建具			103.40	10.50	113.90
家具			18.80	0.80	19.60
下地造作材他集計			686.10	57.90	744.00
総使用木材合計					1,846.00

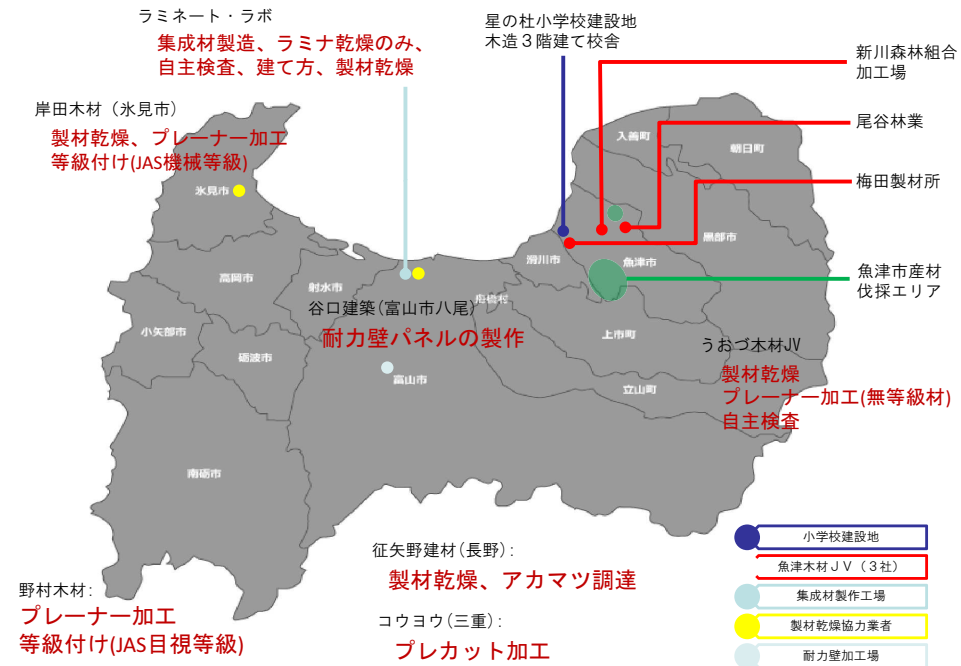
「確実な木材調達を可能にする協力体制イメージ」





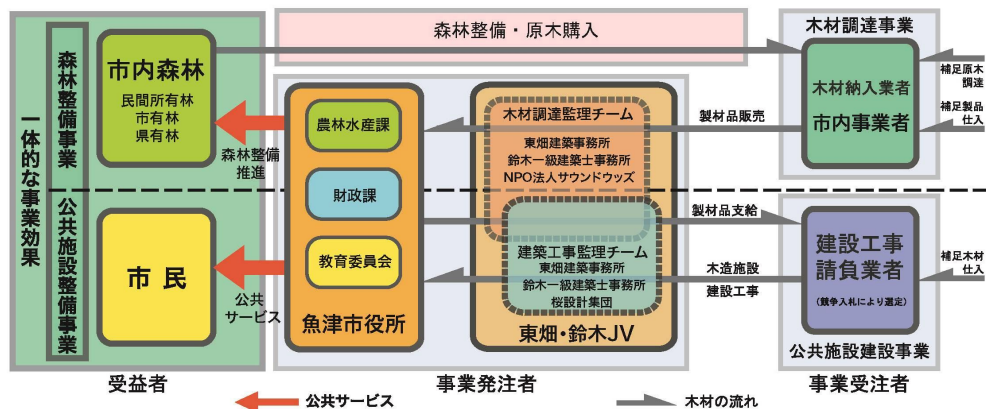
【木材調達計画】

富山県内木材プロジェクトマップ



配布資料02

市内の森づくりに直結した木材調達分離発注による公共木造施設建設事業



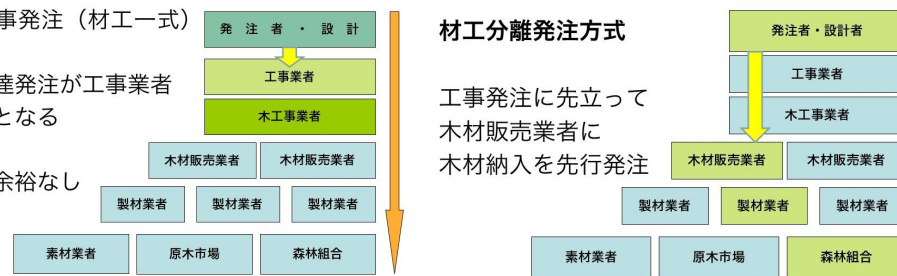
■木材調達分離発注の事業効果

- 建設工事と木材調達の分離発注の制度を採用することで、
- ① 木材の伐採・搬出・製造と建築工事に余裕のある工程管理が可能となり、木造施設の品質・性能を向上させることができる。
 - ② 建設工事一式発注と比較して、公共主体が木材調達の方針を主体的に採配することが可能となる。事業主体として木材調達に主導的な立場をとり、市内産木材の有効活用を促進し、公共施設の建設・補修・再生事業を機会に地域の森づくりの動機付けを行う。
 - ③ 木材調達と建設工事請負の分離発注により、地域資源を活かす担い手として木材納入業者による木材調達のノウハウと、建設工事請負業者による木造建築施工の専門性の双方を活かし、地域の力で公共事業を実現する。
- 結果、身近な森づくりと直結した地域経済・地域産業の活性化と、高品質・高性能な展示効果の高い公共木造施設が整備でき、地域産木材の活用を広く市民に普及させることができる。

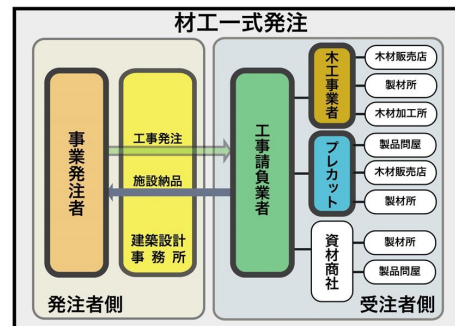
通常工事発注 (材工一式)

木材調達発注が工事業者
決定後となる

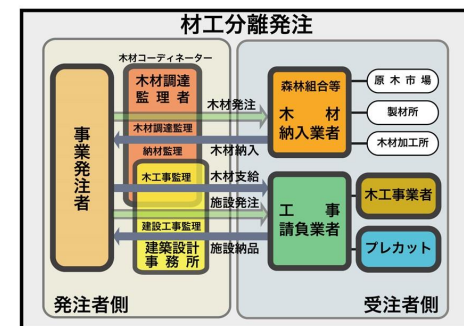
納期に余裕なし



材工一式発注



材工分離発注



西栗倉村基幹施設整備事業【岡山県西栗倉村】

百年の森林づくりが「見える」木の拠点

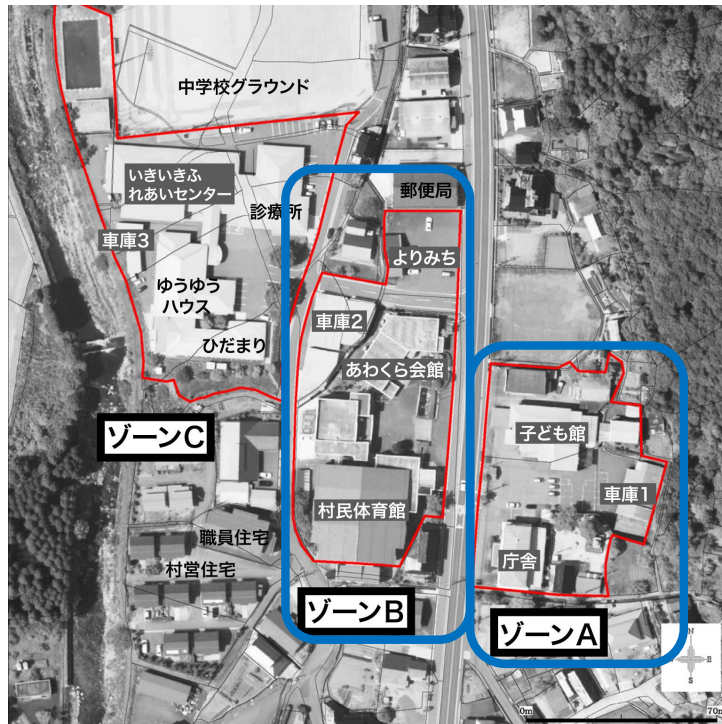


人口1,400人の村
生き残りをかけた戦略

- 移住定住政策
- ベンチャー企業育成
- 流動人口の拡大
- 若年世代の人口増
- 地域資源活用
- 百年の森林構想
- 村の総合戦略として
百年の森林構想



森づくりとまちづくりをつなぐ



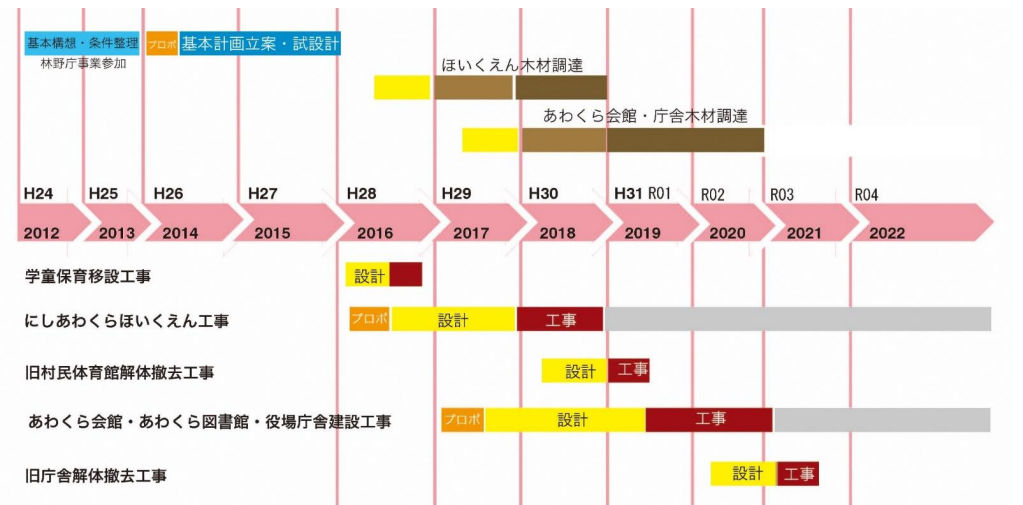
100%村の木でつくる

保育園

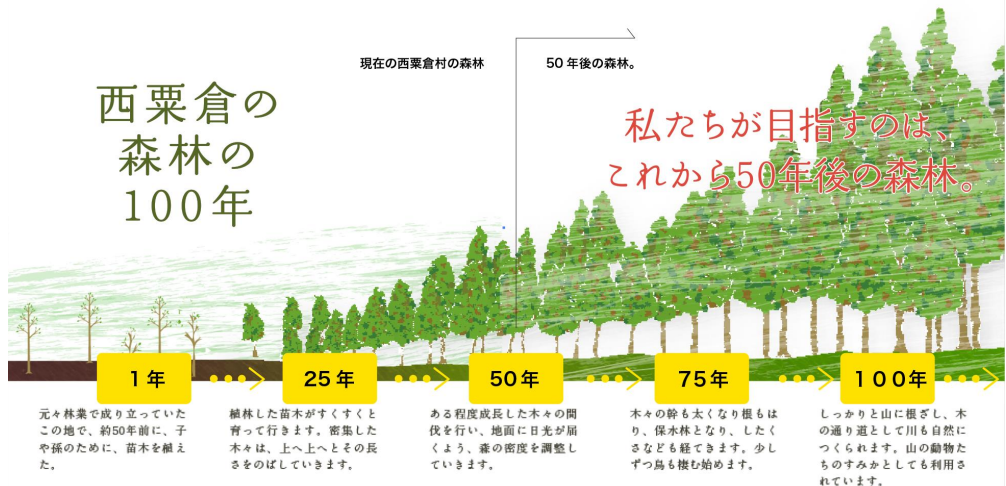
図書館

役場庁舎

コミュニティ
スペース



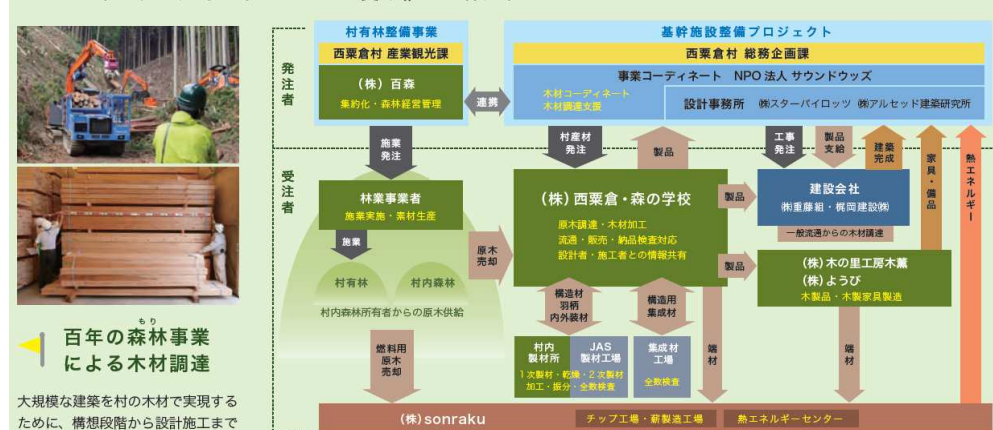
木の建築事業コーディネート
木材コーディネートの事例
西栗倉村基幹施設建設事業
【岡山県西栗倉村】



木の建築事業コーディネーター
木材コーディネーターの事例
西粟倉村基幹施設建設事業
【岡山県西粟倉村】



おじいちゃん、おばあちゃんたちから受け継いだ森はすごかった



百年の森林事業による木材調達

大規模な建築を村の木材で実現するために、構想段階から設計施工まで様々な経験と技術が活かされています。森づくりで産出される原木の有効活用を図るため、村の事業者が連携して木材の調達に取り組みました。工事に先立って、村が木材を確保し、建設工事に支給する「材工分離発注」が採用されています。受け継いだ森林の立木価値を活かす、無垢製材で建築されたことも特徴です。

■木材使用量(製品材積)

工区	分類	基幹施設全体			西粟倉保育園			あわくら会館			
		村産材率	合計	その他	小計	村産材	その他	小計	村産材	その他	
調達者	村産材	96%	817.33	784.84	32.49	131.13	129.73	1.40	686.20	655.11	31.09
	他産材										
村支給	造作材	100%	111.89	111.89	0.00	21.91	21.91	0.00	89.98	89.98	0.00
	造作材	100%	93.25	93.25	0.00	14.45	14.45	0.00	78.80	78.80	0.00
施工者調達	下地材	99%	126.23	125.77	0.46	15.51	15.50	0.01	112.72	112.27	0.45
	計	97%	1,150.70	1,117.75	32.95	183.00	181.59	1.41	967.70	936.16	31.54

単位:㎡

西粟倉保育園

子育て世代に選ばれる木の保育園

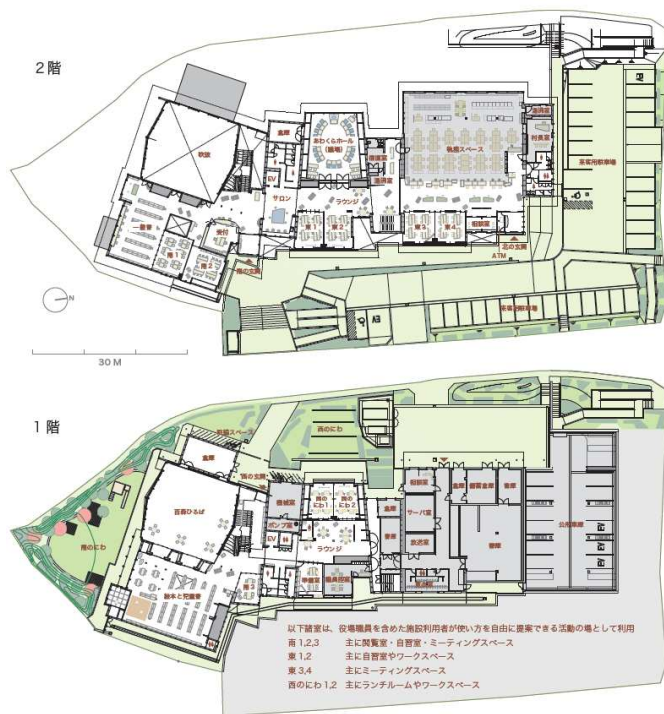




あわくら会館

みんなの「やってみよう」を支える村の中心

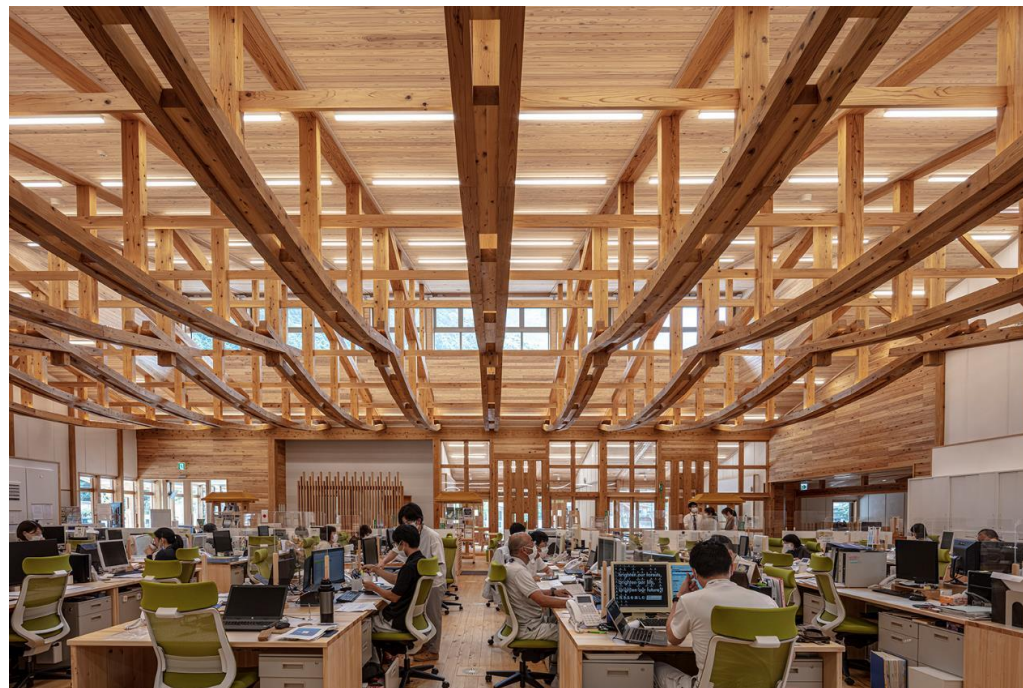
令和3年度木材利用優良施設コンクール 内閣総理大臣賞



あわくら会館

生涯学習施設・図書館・役場庁舎







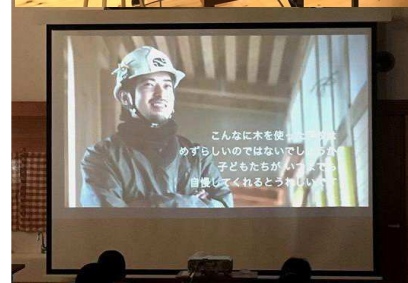
村岡小学校幼稚園 【兵庫県香美町】

ふるさとを学ぶ「教材」をつくる



地域を知る教材となる木の学校

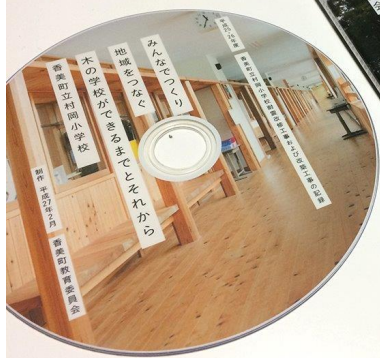
【兵庫】香美町立村岡小学校・村岡幼稚園



ふるさとを学ぶ
木の学校を教材に
使った学習会

- ①紙芝居上演
- ②記録DVDの放映
- ③おとなたちの
仕事のお話し





紙芝居



sound wood(s)
▲→●→■→▲

NPO法人サウンドウッズ
TEL/FAX 0795-71-1065 info@soundwoods.net
丹波事務所：兵庫県丹波市氷上町賀茂72-1
大阪事務所：大阪市中央区内平野町2丁目1番2-5A